

平成 29 年度 安曇野検定

問題用紙

検定時間 60 分間

◎指示があるまでは、この問題用紙を開かないでください。

◎試験開始までに、次の注意事項をご確認ください。

- 解答用紙に、受検番号・氏名を記入してください。
- 問題は、全部で 50 問です。
- 解答は、すべて四者択一式です。解答用紙の所定の欄の番号をはっきりとわかるように○で囲んでください。（複数記入は無効です。）
- 鉛筆又はシャープペンで記入してください。
- 訂正する場合は、消しゴムできれいに消して、書き直してください。
- 問題用紙に落丁・乱丁・印刷不鮮明などがある場合は、係員に申し出てください。

- 試験開始後、30 分～50 分までは退出を認めます。

◎35 問以上の正解で合格です。結果については、2 月 23 日(金)以降に受検者本人宛てに通知します。

◎この問題用紙はお持ち帰りください。

平成 30 年 1 月 28 日
安曇野市教育委員会

～戦前日本航空界の英雄 飯沼正明（第1回講座）～

第1問

明治45年（大正元年）生まれの飯沼正明は、明治から大正への改元にちなんでその名が名付けられました。彼が生まれた年の飛行関連の出来事として、正しいものはどれでしょうか。

- ① アメリカ人飛行家アットウォーターが水上機で東京－横浜間を飛行した
- ② ライト兄弟が世界初といわれる有人動力飛行に成功した
- ③ リンドバーグが大西洋単独無着陸横断飛行に成功した
- ④ アメリカ陸軍航空隊ダグラス機が世界一周飛行に成功した

第2問

日本初の一等飛行士で、飯沼少年に影響を与えたといわれる安曇野市（旧豊科町上鳥羽）出身の飛行士は誰でしょうか。

- ① 藤田 雄蔵
- ② 乃木 ^{まれすけ}希典
- ③ 河内 一彦
- ④ 長谷川 ^{けさと}清登

第3問

昭和12年4月、飯沼正明は東京・ロンドン間15,357kmを94時間17分56秒で飛行し、機体種別Cジャンルの「都市連絡飛行」として、国際航空連盟（FAI）公認の世界記録を樹立しました。この大飛行に関する記述として、最も適切なものはどれでしょうか。

- ① 飯沼はこの大飛行を自ら企画し、単独飛行で成功させた
- ② 途中ハノイからカルカッタまでの飛行中に、燃料不足でビエンチャンを経由した
- ③ 到着したロンドンでは待ち受けた6,000人もの大群衆から大歓迎を受けた
- ④ ロンドン到着後、イギリスのほか欧州3か国を親善訪問したのち、船で帰国した

第4問

飯沼正明が亜欧連絡飛行で新記録を樹立した際に乗った純国産（三菱重工業製）の飛行機の名前は何号でしょうか。

- ① 初風号
- ② 神風号
- ③ 東風号
- ④ 鵬号

第5問

飯沼正明の経歴や功績に関する記述として、最も適切なでないものはどれでしょうか。

- ① 所沢陸軍飛行学校を最優秀の成績で卒業し、朝日新聞社航空部に就職した
- ② 昭和11年に、ハルピン・大阪間を7時間28分で飛び、単座機による飛行記録をつくった
- ③ 日中戦争に従軍し、航空部隊の遠距離通信や偵察業務に従事した
- ④ 太平洋戦争後、東京・ニューヨーク間の太平洋無着陸飛行に成功した

～長野県国会開設運動を導いた人 藤森寿平 前編（第2回講座）～ 第6問

豊科・成相新田出身の藤森寿平を顕彰してつくられた胸像が置かれているのは、豊科のどの辺でしょうか。

- ① 法蔵寺境内
- ② 豊科公民館前
- ③ 豊科交流学習センター前
- ④ 豊科学校跡地

第7問

藤森寿平が校長を務めた武居用拙塾に関する記述として、最も適切でないものはどれでしょうか。

- ① 明治8年に創設され、正式名称を「豊科学校変則課」といった
- ② 小学校の変則課であったため、自由な教育が認められない面も多かった
- ③ 後に国会開設運動のリーダーとして活躍した松沢求策はここで民権思想を学んだ
- ④ 県立中学校の設立とともに、明治17年に閉塾した

第8問

藤森寿平と武居用拙が指揮した長野県の国会開設運動に関する記述として最も適切なものはどれでしょうか。

- ① 藤森寿平らが創立委員となって国会開設運動を主目的とする奨匡社を結成した
- ② 当初は請願権ではなく、建白権の獲得を目指して、新聞・雑誌による広報活動に力を入れていた
- ③ 欧米の革命理論を多く取り入れ、より普遍的な民権の論理・理念を重視していた
- ④ 全国の民権家が集う国会期成同盟東京大会で、高知県に国会開設運動の主導権を奪われた

第9問

立志社の植木枝盛らを中心に日本の国会開設運動を主導した高知県と比較して、長野県における国会開設運動は、ある先人の行動を手本にしている点に一つの特徴があります。その先人とは誰のことでしょうか。

- ① 岩倉具視
- ② 佐久間象山
- ③ ルソー
- ④ 多田加助

第10問

小説家・臼井吉見が、藤森寿平主宰の武居用拙塾を描こうとして未完のまま絶筆となった作品の名前は何でしょうか。

- ① 獅子座
- ② 民権演義情海波瀾
- ③ 東洋民権百家伝
- ④ 経国美談

～長野県国会開設運動を導いた人 藤森寿平 後編（第3回講座）～ 第11問

南安曇郡の近代教育の先駆といわれる藤森寿平が、学制が始まる前の明治4年に、高遠から高橋白山を招いて、法蔵寺境内に開いた青年教育機関は何という名前でしょうか。

- ① 豊科学校 ② 実践社 ③ 進徳館 ④ 穂高学校

第12問

藤森寿平が校長を務めた豊科学校のルーツである研成学校に関する説明として、明らかに誤っているものはどれでしょうか。

- ① 研成学校が穂高学校と豊科学校に分かれた後、穂高学校の校長には研成学校の校長だった高橋白山がそのまま就いた
② 研成学校は旧保高組の学校で、最初にあった場所は細萱の寺である
③ 研成学校は松本の開智学校と同じく、学制によりつくられた学校である
④ 後に南安クラブで寿平と交流のあった井口喜源治が創設した研成義塾は、研成学校の跡地につくられた

第13問

藤森寿平が制作に関わっている文化財とその制作者の組み合わせとして、明らかに誤っているものはどれでしょうか。

- ① 神楽殿天井画（有明山神社）－橋本雅邦
② 貞享義烈碑（貞享義民社）－中林梧竹
③ 聖天堂（栗尾山満願寺）－瀬川伊勢松
④ 松沢求策顕彰碑（深志神社）－太田伯一郎

第14問

藤森寿平の功績や実績として、明らかに誤っている記述はどれでしょうか。

- ① 学校設立の建白書を松本藩主に提出した
② 窪田畔夫の紹介で武居用拙を豊科学校に招いた
③ 八面大王を征伐した坂上田村麻呂を英雄として再評価した
④ 南安曇郡の郡長から委嘱され、南安曇郡誌の編纂に携わった

第15問

藤森寿平は晩年、相馬愛蔵や黒光とも交流があり、黒光の著書には「山の桂谷さん」としても登場しています。その著書の名称はどれでしょうか。

- ① 穂高高原 ② 黙移 ③ 滴水録 ④ 広瀬川の畔

～貞享騒動とその時代 多田加助 前編（第4回講座）～ 第16問

貞享騒動が起きた時代は、徳川家何代将軍の誰のときでしょうか。

- ① 5代将軍・綱吉 ② 8代将軍・吉宗 ③ 9代将軍・家重 ④ 11代将軍・家斉

第17問

松本藩の年貢に関する記述として、最も適切でないものはどれでしょうか。

- ① 年貢の米を粃の状態に納める粃納を採用していた
② 年貢の一部は米ではなく大豆で納めることになっていた
③ 摺歩（粃と玄米の換算率）が他の藩に比べて低い水準にあった
④ 年貢の一部は江戸藩邸用の費用米や給与米として江戸に回送されていた

第18問

貞享騒動が起きた当時の中萱村の状況として、最も適切な記述はどれでしょうか。

- ① こぼれ粃よりも真粃のほうが多く栽培されていた
② 松本藩による検地（田畑の面積や等級などの調査）はまだ実施されていなかった
③ 貞享騒動が起こる前には村方と藩との対立はほとんどなかった
④ 勘左衛門堰は開削されていたが、その効果は十分に現れていなかった

第19問

貞享騒動で、多田加助らが年貢の収納に際して撤廃を訴えた作業は何でしょうか。

- ① 分粃 ② 宛挽き ③ のぎ取り ④ 脱穀

第20問

問19の訴え以外に、貞享騒動で、多田加助らが藩に要求した内容として、最も適切なものはどれでしょうか。

- ① 年貢の金納分を米の収量によらず固定額とすること
② 年貢1俵あたりの玄米を2斗5升挽きにすること
③ 年貢の厳しい取り立てを行った納手代を罷免すること
④ 年貢のうち、江戸へ米を回送すること（廻米）をやめること

～貞享騒動とその時代 多田加助 後編（第5回講座）～

第21問

中世の土豪の系譜を引くといわれる中萱村の多田家は、村内では大百姓でした。その多田家が勧請したと伝えられている神社は、何神社でしょうか。

- ① 熊野神社 ② 三柱神社 ③ 住吉神社 ④ 大同神社

第22問

多田加助が庄屋時代に名乗っていた名前はどれでしょうか。

- ① 孫三郎 ② 彦之丞 ③ 彦三郎 ④ 角右衛門

第23問

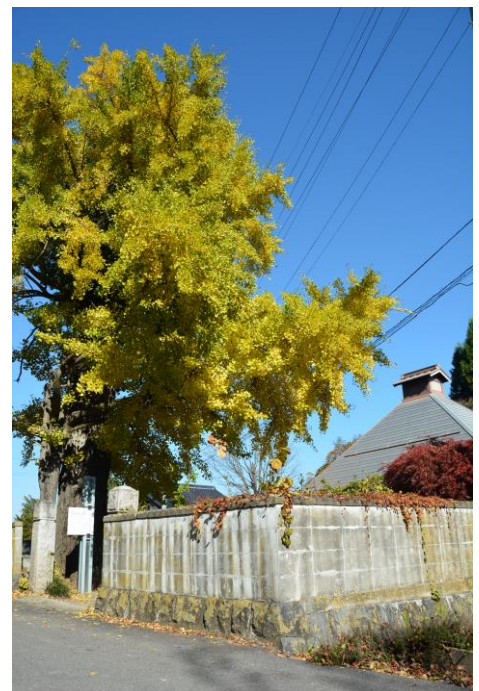
貞享騒動で、多田加助らが訴状を提出した後、松本藩からは2回にわたり、回答書が出されています。第1次回答書は郡奉行の連名によるもの、第2次回答書は家老の連名によるものですが、それらの回答内容や騒動終結後の実際の状況として、最も適切な記述はどれでしょうか。

- ① 第1次回答書ではほとんどの訴えが認められなかった
② 第2次回答書では、第1次回答書の内容がすべて覆された
③ 第2次回答書には、第1次回答書よりもさらに譲歩した内容があった
④ 騒動終結後には、第2次回答書のと通りの対応がすべてなされた

第24問

貞享騒動では結果的に首謀者らが捕縛され、多田加助ら28人が処刑されました。右の写真は、そのうちの一人、小穴善兵衛の墓のそばに建てられたお堂です。このお堂の名前の由来となっている樹木は何でしょうか。

- ① カツラ ② イチョウ
③ ケヤキ ④ アキニレ



安曇野検定

第25問

下の4枚の写真は、いずれも貞享騒動後につくられた義民顕彰の場です。このうち、安曇野市内でないのはどれでしょうか。



①



②



③



④

～郷土の彫刻家 小川大系（第6回講座）～

第26問

南安曇郡東穂高村生まれの郷土の彫刻家、小川大系に関する記述として、最も適切なものはどれでしょうか。

- ① 大系は彼の才能を知る山本安曇の紹介で、20代で北村西望に弟子入りすることができた
- ② 大系の作品が銀座三越で飛ぶように売れたことで、北村西望にその才能が認められた
- ③ 大系の作品には人間の内面にある苦しみをテーマにしたものが多い
- ④ 大系は師の北村西望もうなるほど馬の彫刻が上手だった

第27問

下の4枚の写真は、いずれも小川大系の作品です。このうち、大系が36歳のとき帝展において初入選した作品はどれでしょうか。



①



②



③



④

第28問

小川大系の師、北村西望が考案したといわれ、数多くの大系作品に取り入れられている彫刻の技法はどれでしょうか。

- ① 砂型 casting ② 石膏直付け ③ 一本彫 ④ 石膏削り出し

第29問

小川大系が73歳のときに制作した最後の人体像作品「登頂」が設置されているのは、次のうちどこでしょうか。

- ① 穂高会館の中庭 ② 穂高東中学校の校内
③ 穂高駅前広場 ④ 穂高交流学习センター「みらい」の駐車場内

第30問

小川大系と同じく北村西望に師事した彫刻家との合作で大系の絶作となった作品のモデルで、槍ヶ岳の案内人として知られている人物は誰でしょうか。

- ① 播隆上人 ② 上條嘉門次 ③ 中田又重郎 ④ 小林喜作

～郷土を愛した漆芸作家 高橋節郎（第7回講座）～

第31問

北穂高狐島に生まれた高橋節郎の生い立ちに関する記述として、最も適切なものはどれでしょうか。

- ① 節郎の父、太一は水彩画を描く職業人としての画家だった
- ② 東山魁夷の師で、節郎の父と知り合いだった日本画家・結城素明は、高橋家をたびたび訪れ写生に出かけていた。節郎は父と共にこれに同行した。
- ③ 旧制松本中学校時代に節郎を指導したのが、倭村（現松本市）生まれの日本画家・宮坂勝だった
- ④ 節郎は父の強い勧めで東京美術学校を受験することになった

第32問

高橋節郎が進学先の東京美術学校工芸科漆工部で師事した人物で、色漆の研究で漆芸の近代化につとめ、現代工芸美術家協会の創始者の一人としても位置づけられるのは誰でしょうか。

- ① 松田権六 ② 磯矢陽 ③ 六角紫水 ④ 山崎覚太郎

第33問

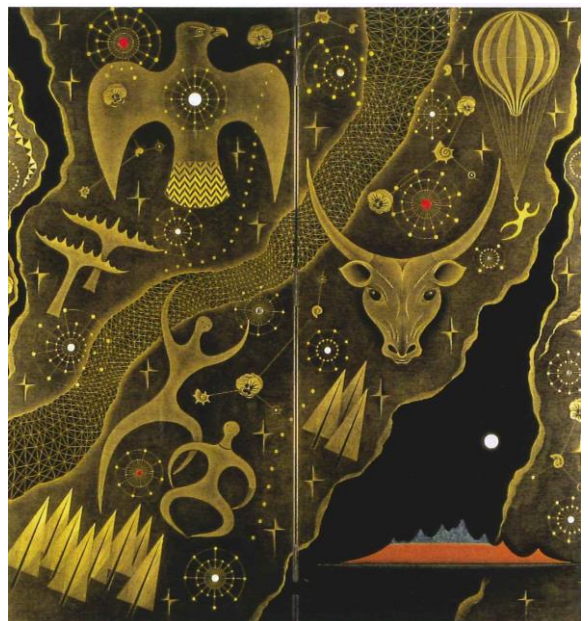
高橋節郎が憧れを抱いたシュルレアリスムの技法として、適切でないものはどれでしょうか。

- ① オートマティスム ② コラージュ
- ③ モザイク ④ デペイズマン

第34問

右の写真は高橋節郎の代表作の一つで、星空や古代への憧憬など少年時代の想いとともに、安曇野の風景を取り入れて描かれた漆屏風です。この作品の名前はどれでしょうか。

- ① 満天星花
- ② 花の星座
- ③ 星空円舞
- ④ 山河あり



第35問

高橋節郎の経歴や制作活動に関する記述として、最も適切でないものはどれでしょうか。

- ① 美術学校修了後、民間会社に勤める傍ら作品を制作し、文展や日展で入選を果たした
- ② 新進の漆芸家だった高橋節郎も、第二次世界大戦中は金属類回収令の発令により漆芸表現に必要な金粉を手に入れることができず、作品制作を断念せざるを得なかった
- ③ 鎗金や螺鈿、蒔絵など日本の伝統的な技法も取り入れながら、漆でなければ描けない作品制作に力を入れた
- ④ 晩年になっても制作意欲は衰えず、80歳を超えてから乾漆立体という技法を用いた作品で新境地を切り開いた

～大河小説『安曇野』の作家 臼井吉見 前編（第8回講座）～

第36問

臼井吉見が堀金尋常高等小学校に通っていたときの校長で、毎週月曜日の朝礼ではいつも「常念を見よ」と児童に呼びかけ、当時の臼井少年に大きな影響を与えたのは誰でしょうか。

- ① 藤森桂谷 ② 佐藤嘉市 ③ 藤森馨 ④ 務台理作

第37問

旧制松本中学校時代の臼井吉見に関する記述として、最も適切でないものはどれでしょうか。

- ① 南安曇郡三田村田尻（現 安曇野市堀金田尻）に住まいのあった臼井吉見は、最寄りの信濃鉄道一日市場駅から松本に通っていた
- ② 同級生の古田晃（のちの筑摩書房の社長）とは兄弟のように仲が良かった
- ③ 一級上にはのちの評論家で、筑摩書房の顧問にも就いた唐木順三がいた
- ④ 『中央公論』の影響で中学二年のころから文学に目覚め、谷崎潤一郎や正宗白鳥の小説に感銘を受けていた

第38問

臼井吉見の東京帝国大学文学部国文科入学後の経歴に関する記述として、最も適切でないものはどれでしょうか。

- ① 東大在籍のまま上伊那郡中箕輪実業補修学校（現 箕輪進修高校）の代用教員を務め、卒業後は兵役を経て教師となった
- ② 35歳のとき、古田晃と筑摩書房を創立し、程なくして上京し、経営に参画する傍らで、東京女子大学にも出講していた
- ③ 陸軍少尉として松本五十連隊に入隊し、入隊中に中箕輪村（現 箕輪町）で松尾芭蕉について講演をしたことがある
- ④ 復員後、再び上京して筑摩書房に副社長として迎えられたが、戦後の物資不足で用紙の調達がままならず、書籍もなかなか売れなかったため、すぐに会社は経営難に陥った

第39問

臼井吉見がある雑誌に載せた記事「〇〇への訣別」は、意図せずとも一部の人たちから猛烈な反発を受けることになりました。この〇〇に当てはまる言葉は何でしょうか。

- ① 文学 ② 浪漫 ③ 体制 ④ 短歌

第40問

臼井吉見の業績に関する記述として、最も適切でないものはどれでしょうか。

- ① 古田晃、唐木順三、中村光夫らと企画し、自らが編集長として発行した総合雑誌『展望』の「展望」欄への随筆連載が、文芸評論家になるきっかけとなった
- ② 第37回菊池寛賞を受賞した『明治文学全集』（全100巻）は、編集者としての最後の大企画で、完結までに約24年の歳月を要した
- ③ 昭和31年に芸術選奨文部大臣賞を受賞した『近代文学論争』は上下巻を同時に刊行した
- ④ 小説『安曇野』の第一部を刊行したのは60歳になってからである

～大河小説『安曇野』の作家 臼井吉見 後編（第9回講座）～ 第4 1 問

小説『安曇野』に関する記述として、最も適切でないものはどれでしょうか。

- ① 明治30年代から昭和初期までの安曇野が描かれている
- ② 全5巻が昭和40年から同49年にかけて断続的に出版された
- ③ 第10回谷崎潤一郎賞を受賞した
- ④ 「安曇野」の地名を全国区にした

第4 2 問

小説『安曇野』のキーパーソンの一人、木下尚江について本文から読み取れる内容として、最も適切でないものはどれでしょうか。

- ① 松本中学時代、相馬愛蔵や井口喜源治らの先輩で、学校では傑出した存在だった
- ② 臼井喜代とともに禁酒会に対する村人たちの反発の声を抑える役目を果たしていた
- ③ 石川半山の後を嗣いで、松本の信濃日報の主筆となった
- ④ 相馬家に嫁いだ良（相馬黒光）の気持ちを見抜いていた

第4 3 問

小説『安曇野』の全5巻のうち、白樺派教員に対する弾圧についての詳しい記載があるのは、第何部でしょうか。

- ① 第一部 ② 第二部 ③ 第三部 ④ 第四部

第4 4 問

小説『安曇野』の第五部の最後には、安曇野市内にある施設の開館に至るまで経緯が記されています。その施設はどれでしょうか。

- ① 鐘の鳴る丘集会所 ② 臼井吉見文学館
- ③ 井口喜源治記念館 ④ 碌山美術館

第4 5 問

次の文章は臼井吉見が書いた随筆「岩魚の話」の一節です。この話が収められた彼の自伝的随想集の名前は何かというのでしょうか。

「松茸と鵜と岩魚と—これを僕は安曇野の三味覚と思っている。/ 松茸は秋だけ、鵜は秋から冬にかけて、岩魚だけは季節にかかわらない。/僕は岩魚を釣りあげた覚えはないが、手づかみにした経験ならある。」

- ① 残雪抄 ② 一つの季節
- ③ どんぐりのへた ④ ほたるぶくろ

